競 技 注 意 事 項

1　競技規則について

(1) 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

(2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第22条の2に示された者）も可とする。

(3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

2　競技者の招集について

(1) 競技者招集所は、正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。

(2) 招集時間

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技　予選	競技開始３０分前	競技開始１５分前
トラック競技　決勝	競技開始２０分前	競技開始１０分前
棒　高　跳	競技開始１２０分前	競技開始１１０分前
走幅跳・三段跳・ハンマー投	競技開始６０分前	競技開始５０分前
走高跳・砲丸投	競技開始７０分前	競技開始６０分前
円盤投	競技開始５０分前	競技開始４０分前
やり投	競技開始８０分前	競技開始７０分前

(3) 招集の手順

① 競技者または代理人が招集所の競技者係から確認（招集）を受け、各競技の場所で最終点呼を受ける。

② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、２種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。

③ 棄権をする競技者は、本人または引率教員が棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。

④ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の１時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定どおりに受けること。オーダー用紙の提出後は変更できない。怪我等の特別な理由がある時は本部へ申し出ること。大会のドクターかトレーナーの診察を受け、変更を認めることがある。なお、招集時間完了後は変更できない。

⑤ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

3　アスリートビブスについて

(1) 出場者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。ただし、跳躍競技の競技者は、胸部または背部に付けるだけでもよい。

(2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡された腰ナンバーカードを右腰やや後方につけること。

4　競技について

(1) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、大雨等、安全に競技を実施することが難しい場合に限り変更することもある。

男子走高跳　1.70・1.90(練習)　1.70　1.75　1.80　1.85　1.90　1.95　（以降３㎝）…　※Ａは1.75から

女子走高跳　1.30・1.45(練習)　1.30　1.35　1.40　1.45　1.50　（以降３㎝）…　※Ａは1.40から

男子棒高跳　2.80・3.50・4.30(練習)　2.80　3.00　3.20　3.40　3.60　3.70　（以降10㎝刻み）

女子棒高跳　2.00・2.50・3.30(練習)　2.00　2.20　2.40　2.60　2.80　2.90　（以降10㎝刻み）

(2) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
(3) スパイクシューズのピンの使用は９㎜以下とする。ただし、走高跳・やり投は１２㎜以下とする。
(4) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
(5) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
(6) 4×400ｍリレーの第３・４走者は、競技役員の指示に従い前走者が200ｍスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。なお、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
(7) リレーに出場のチームは、原則同一のユニフォームを着用する。ただし服装に関しては、色やデザインが同様で同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
(8) 次のフィールド競技のＡ・共通種目ついて、下記の記録以下は計測しない。ただし、気象条件等により変更することがある。
男子　走幅跳 6.00、 三段跳 11.50、 砲丸投 11.00、 円盤投 30.00、ハンマー投 30.00、やり投 45.00
女子　走幅跳 4.50、 砲丸投 8.00、 円盤投 20.00、 ハンマー投 30.00、 やり投 30.00
(9) 5000mWはスタート後35分でレースを打ち切る。ただし最後の直線に入っている選手はゴールさせる。
(10) 通信機器（携帯電話・トランシーバー・イヤホン等）、ラジオ等の競技場内への持ち込みは禁止する。競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。
(11)ＷＡ競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
(12)ＴＲ4.3は適用する。試技を行うべき順序の際に競技者不在の場合は、試技時間が過ぎたら「パス扱い」とする。
(13)ＴＲ6.4.5は適用する。ビデオ等を見せる場合は、安全且つ競技運営に支障のない場所で各チームが準備したひもやかご等の道具を使って録画機器を受け渡しすることができる。ただし、安全には十分配慮すること。また、機器の破損等が生じた場合、主催者は一切の責任を負わない。なお、機器の投げ渡しや身を乗り出しての危険な状態での受け渡しは認めない。
(14)抗議と上訴について
・競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者は抗議担当総務員に申し出ること。
・抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、当該競技者の監督により預託金10,000円を添えて「上訴申立書」を抗議担当総務員を通してジュリーに提出されなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、当該種目の結果が変更された場合は、その結果が公式に発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者に対して、その旨が通告されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）とする。

5　競技の抽選及び番組編成について

(1) トラック種目における決勝へのプラス進出者については、該当競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも決まらない場合は「同着」とし、レーンに余裕がある場合には次のラウンドに進出する。レーンに余裕がない場合は抽選する。ただし、1500ｍ以上の長距離種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。
(2) 抽選は本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後５分経過しても抽選にこない場合は本部が代理で行う。対象者は特にアナウンスに注意すること。

6　競技用具について

(1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
(2) やりについては、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
(3) やりの検査は、第４ゲート用器具倉庫にて時間（通告する）を決めて行う。

7　練習について

(1) フィールド競技（円盤投、ハンマー投を除く）の練習は、招集後に競技役員の指示により本競技場内で行う。

(2) 雨天練習場は100mスタート方向からの一方通行とする。戻る際は走路両サイドの端を通行すること。安全対策と同時に熱中症対策等をして使用すること。なお、待機場所としての使用は禁止する。

(3) 投てき競技（円盤投、ハンマー投を除く）の練習は、本競技場内のみとし、本競技場外での練習は厳禁とする。

(4) 円盤投、ハンマー投の練習については、競技実施日に限り投てき練習場で行う。投てき練習場には競技者及び引率者以外は立ち入らないこと。練習の際は引率者が立ち会い、安全面に十分注意すること。練習時間は以下の通りとする。

種目	投てき練習場使用時間
高校女子円盤投	９：２０～１１：３０
男子ハンマー投	１１：３０～１３：２０
女子ハンマー投	１０：００～１１：５０
高校男子円盤投	１１：５０～１４：００

(5) 投てき競技に出場する競技者は、特に事故防止に充分に注意すること。

(6) 補助競技場でメディシンボールなどの投てき物を使った練習は禁止する。

8　表彰について

(1) 表彰は行わない。第３位までの入賞者に賞状を渡すため、対象者がいる学校の顧問は本部に受け取りに来ること。

(2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第３位までに賞状を渡す。対象校の顧問は本部に受け取りに来ること。

(3) 入賞者の得点は、１位８点、２位７点、以下６・５・４・３・２・１点とする。

9　その他

(1) スタンドにはテントを設置しないこと。

(2) 各校の応援用横断幕は、メインスタンドには張らないこと。のぼり旗についてはメインスタンド最上部後方フェンスにくくりつけてもよい。

(3) 更衣室は更衣のみに使用し、物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。
１００ｍスタート付近の更衣室のみ利用可とする。

(4) ゴミについては、各学校・個人で責任を持って持ち帰ること。

(5) フィールド競技を行っている際は、その付近での連呼応援等、競技の進行に支障の出る応援は禁止する。